

はばただけ 広島サンダーズ

久原 大輝

7月中旬に、金子聖輝選手の結婚式が古里福岡県で挙行された。

選手、スタッフも式に参加するため、ドライブを兼ねて福岡入り。

音楽一家で育った金子選手。披露宴の歓談中は、ご親族による演奏や独唱を披露してくださったが、まさに圧巻の一言だった。



金子選手の幸せそうな笑顔
(7月20日)



金子選手の門出祝福

た。

恒例のサンダーズ選手による余興は、西村信余興部長を中心に、今回も練習やイベントの合間で準備してきた。本番も息がピッタリ合ったダンスを見せてくれて、笑いの渦を巻き起こしてくれた。

18歳でサンダーズに入団して今年で10年目。入団した当初は右も左も分からないまま、無我夢中でバレーボールに取り組む姿や、先輩方からかわいがられている姿が、昨日のように思えるくらい、印象に残っている。彼と出会って私も10年たち、寮生の時はいろいろ、遊びにも行った記憶もある。

そんな金子選手が、人生の晴れ舞台を立派に迎えた瞬間に参列することができて、非常に感慨深かった。

永露元稀選手の加入で、阿部大樹選手も含めたセッター争いは激化するが、ご家族のため、自らのために、精進をしてほしいところだ。

末永くお幸せに。

(広島Tマネジャー)